

II. 本県の一般飲食店の構造

1. 商店数

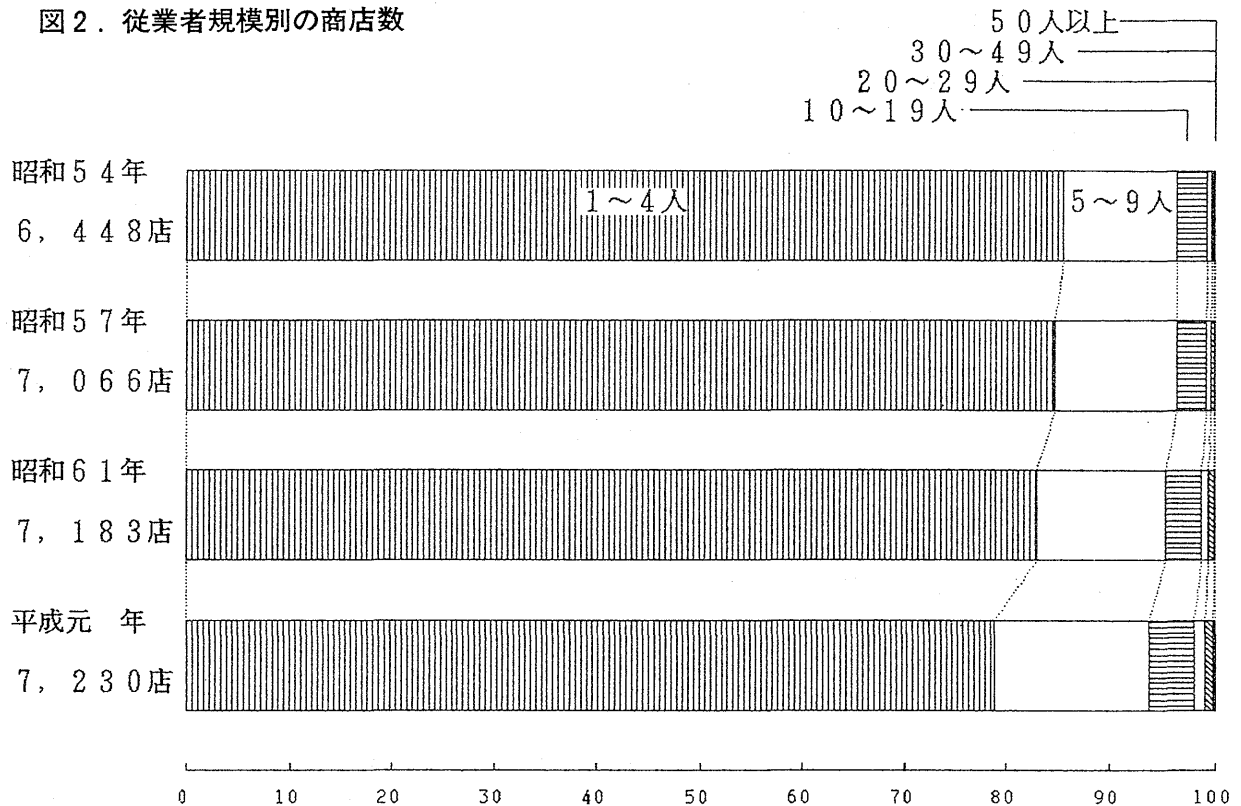
(1) 従業者規模別商店数

商店数を従業者規模別にみると、従業者「1～4人」の商店が5,708店（構成比78.9%）で最も多く、ついで「5～9人」が1,077店（同14.9%）、「10～19人」314店（同4.3%）、「20～29人」70店（同1.0%）、「30～49人」48店（同0.7%）、「50人以上」13店（同0.2%）の順になっており、依然として小規模商店が多いことがうかがえる。（表2参照・図2参照）

表2. 従業者規模別の商店数

一 般 飲 食 店		実 数 () は構成比			
		昭和54年	昭和57年	昭和61年	平成元年
	総 数	(100%) 6,448	(100%) 7,066	(100%) 7,183	(100%) 7,230
	1～4人	(85.5%) 5,516	(84.6%) 5,977	(83.0%) 5,959	(78.9%) 5,708
	5～9人	(11.0%) 709	(11.8%) 837	(12.4%) 894	(14.9%) 1,077
	10～19人	(2.7%) 176	(2.7%) 194	(3.3%) 239	(4.3%) 314
	20～29人	(0.4%) 29	(0.4%) 29	(0.7%) 49	(1.0%) 70
	30～49人	(0.2%) 13	(0.3%) 21	(0.5%) 33	(0.7%) 48
	50人以上	(0.1%) 5	(0.1%) 8	(0.1%) 9	(0.2%) 13

図2. 従業者規模別の商店数



(2) 業種別商店数

商店数7,230店について業種別構成をみると、食堂・レストラン39.8%、そば・うどん店6.2%、すし店7.6%、喫茶店37.8%、その他の一般飲食店8.7%となり、食堂・レストラン、喫茶店の2業種で全体の77.6%をしめている。

また、前回に対する県全体伸び率0.7%（47店）増について、業種別構成をみると食堂・レストランが11.7%の伸びを示し、すし店△2.7%、その他の一般飲食店△3.4%、喫茶店△6.1%、そば・うどん店△8.2%とそれぞれ減少している。

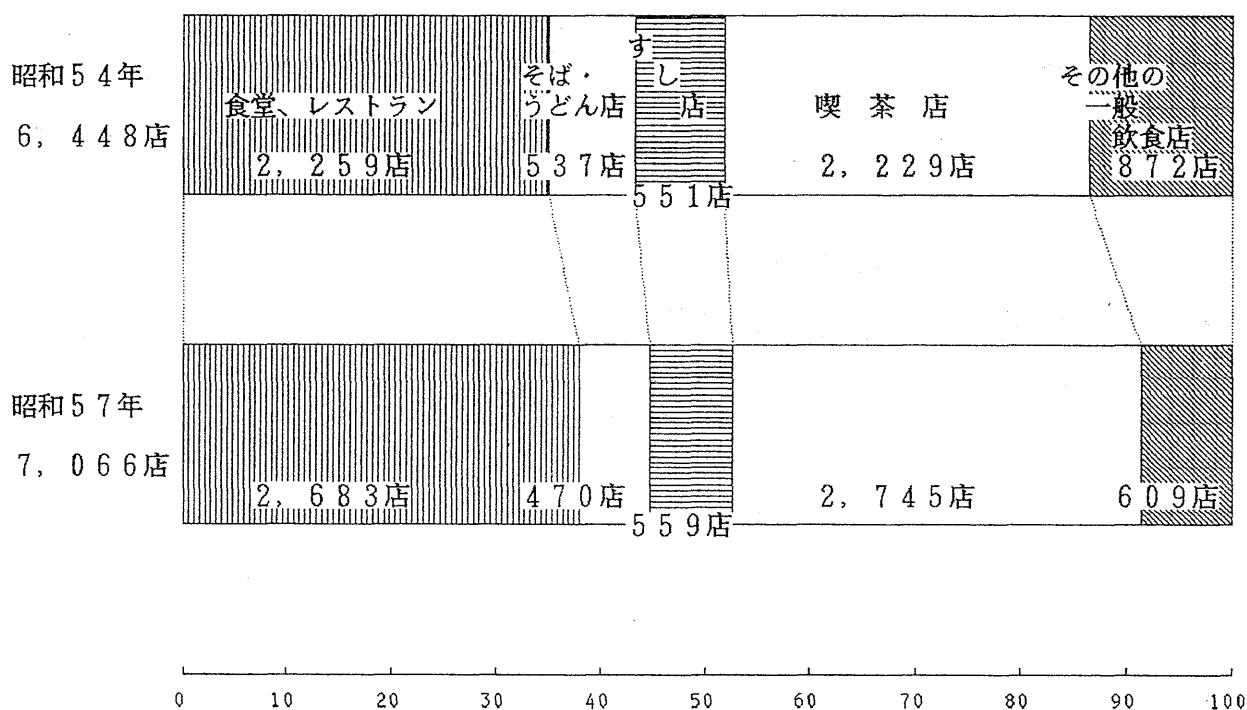
最近10年間の商店増加数782店をみると、食堂・レストランが27.4%（620店）の増加、逆にその他の一般飲食店が△28.0%（△244店）の減少となっている。

（表3参照・図3参照）

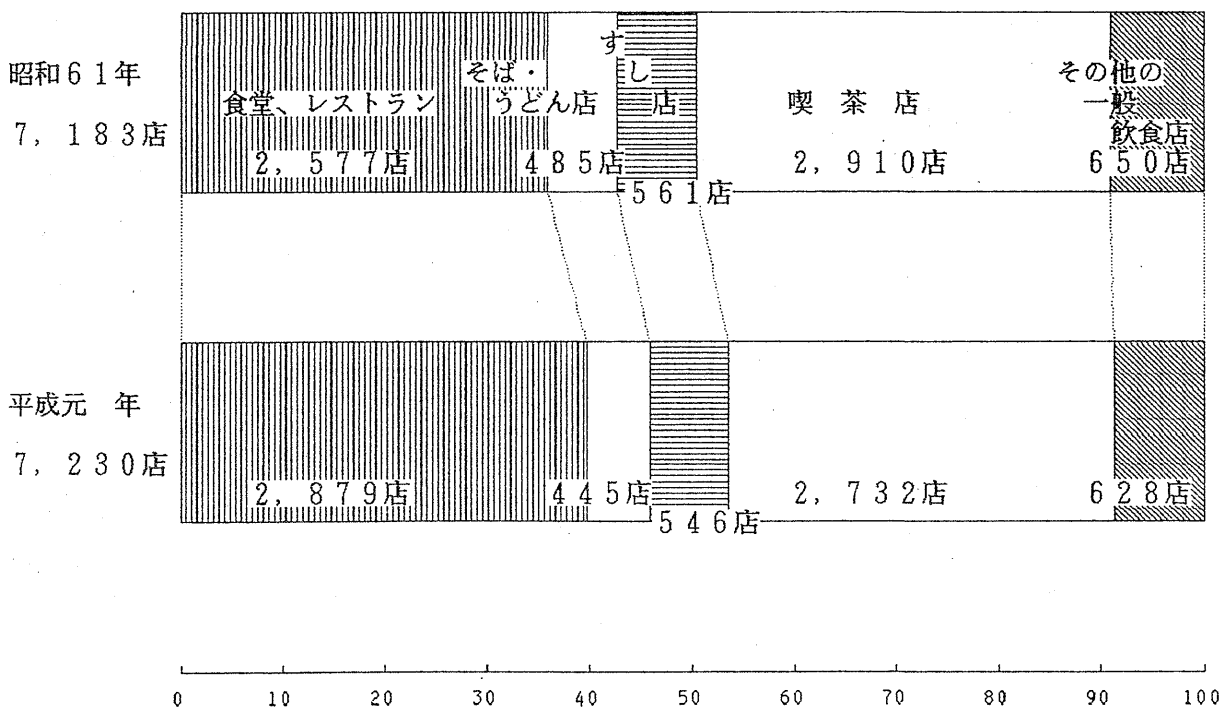
表3. 業種別の商店数

	昭和54年			昭和57年		
	実数	構成比	対前回比	実数	構成比	対前回比
合計	6,448	100.0%	113.3%	7,066	100.0%	109.6%
食堂、レストラン	2,259	35.0%	116.1%	2,683	38.0%	118.8%
そば・うどん店	537	8.3%	98.5%	470	6.7%	87.5%
すし店	551	8.5%	108.9%	559	7.9%	101.5%
喫茶店	2,229	34.6%	141.2%	2,745	38.8%	123.1%
その他の一般飲食店	872	13.5%	78.1%	609	8.6%	69.8%

図3. 業種別の商店数



昭和61年			平成元年			対54年比	
実数	構成比	対前回比	実数	構成比	対前回比	増減数 元/54年	
	%	%		%	%		%
7,183	100.0	101.7	7,230	100.0	100.7	782	112.1
2,577	35.9	96.0	2,879	39.8	111.7	620	127.4
485	6.8	103.2	445	6.2	91.8	△92	82.9
561	7.8	100.4	546	7.6	97.3	△5	99.1
2,910	40.5	106.0	2,732	37.8	93.9	503	122.6
650	9.0	106.7	628	8.7	96.6	△244	72.0



2. 従業者数

(1) 業種別従業者数

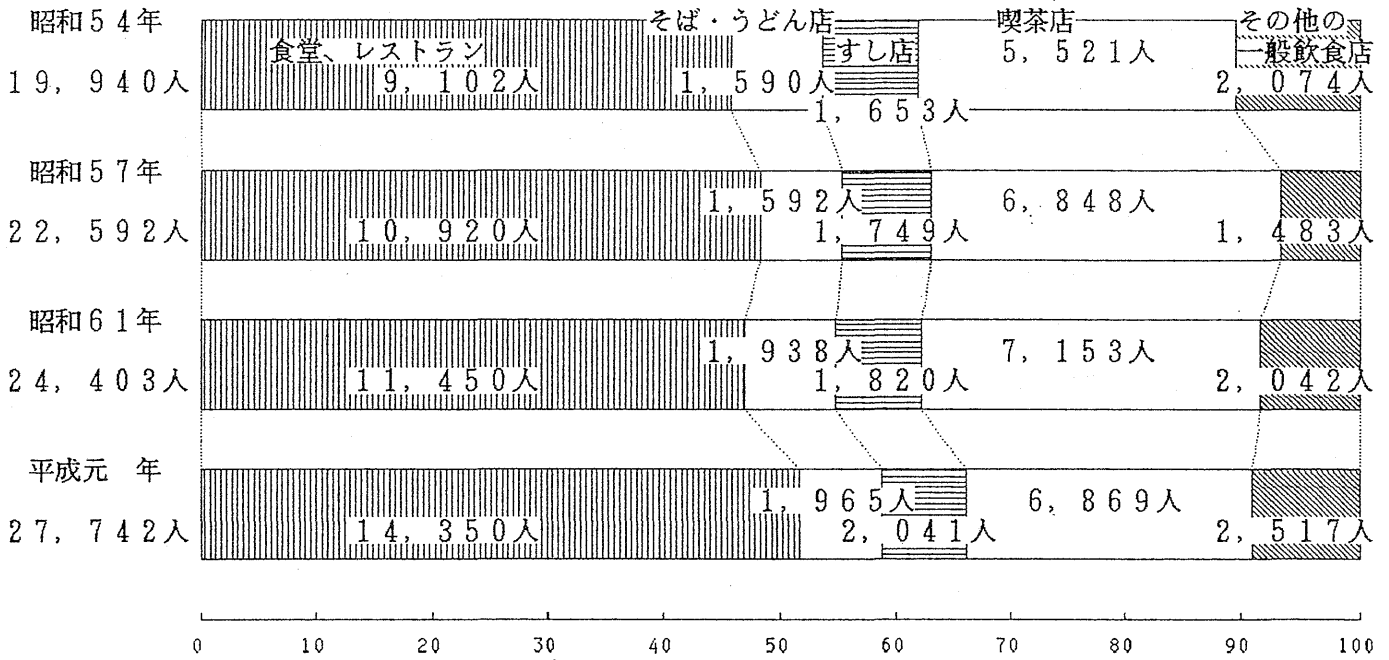
従業者は、27,742人で前回に比べ13.7% (3,339人)増加した。これを業種別にみると、食堂・レストラン2,900人 (25.3%)、そば・うどん店27人 (1.4%)、すし店221人 (12.1%)、喫茶店△284人 (△4.0%)、その他の一般飲食店475人 (23.3%)となっている。

過去10年間では、7,802人 (39.1%)の伸びになっているが、業種別でみると、実数、伸び率とも食堂・レストランの5,248人 (57.7%)の増加が最も多くなっている。(表4参照・図4参照)

表4. 業種別の従業者数

	昭和54年			昭和57年		
	実数	構成比	対前回比	実数	構成比	対前回比
合計	19,940	100.0%	107.2%	22,592	100.0%	113.3%
食堂、レストラン	9,102	45.6%	112.3%	10,920	48.3%	120.0%
そば・うどん店	1,590	8.0%	100.1%	1,592	7.1%	100.1%
すし店	1,653	8.3%	97.8%	1,749	7.7%	105.8%
喫茶店	5,521	27.7%	126.4%	6,848	30.3%	124.0%
その他の一般飲食店	2,074	10.4%	73.0%	1,483	6.6%	71.5%

図4. 業種別の従業者数



昭和61年			平成元年			対54年比	
実数	構成比	対前回比	実数	構成比	対前回比	増減数	元/54年
	%	%		%	%		%
24,403	100.0	108.0	27,742	100.0	113.7	7,802	139.1
11,450	46.9	104.9	14,350	51.7	125.3	5,248	157.7
1,938	7.9	121.7	1,965	7.1	101.4	375	123.6
1,820	7.5	104.1	2,041	7.4	112.1	388	123.5
7,153	29.3	104.5	6,869	24.8	96.0	1,348	124.4
2,042	8.4	137.7	2,517	9.1	123.3	443	121.4

3. 年間商品販売額

(1) 業種別年間商品販売額

年間商品販売額は、前回に比べ217億円(19.4%)の増加となった。業種別構成をみると、食堂・レストラン180億円(30.5%)、そば・うどん店9億円(11.5%)、すし店23億円(20.5%)、喫茶店△25億円(△10.2%)、その他の一般飲食店30億円(32.8%)となっている。

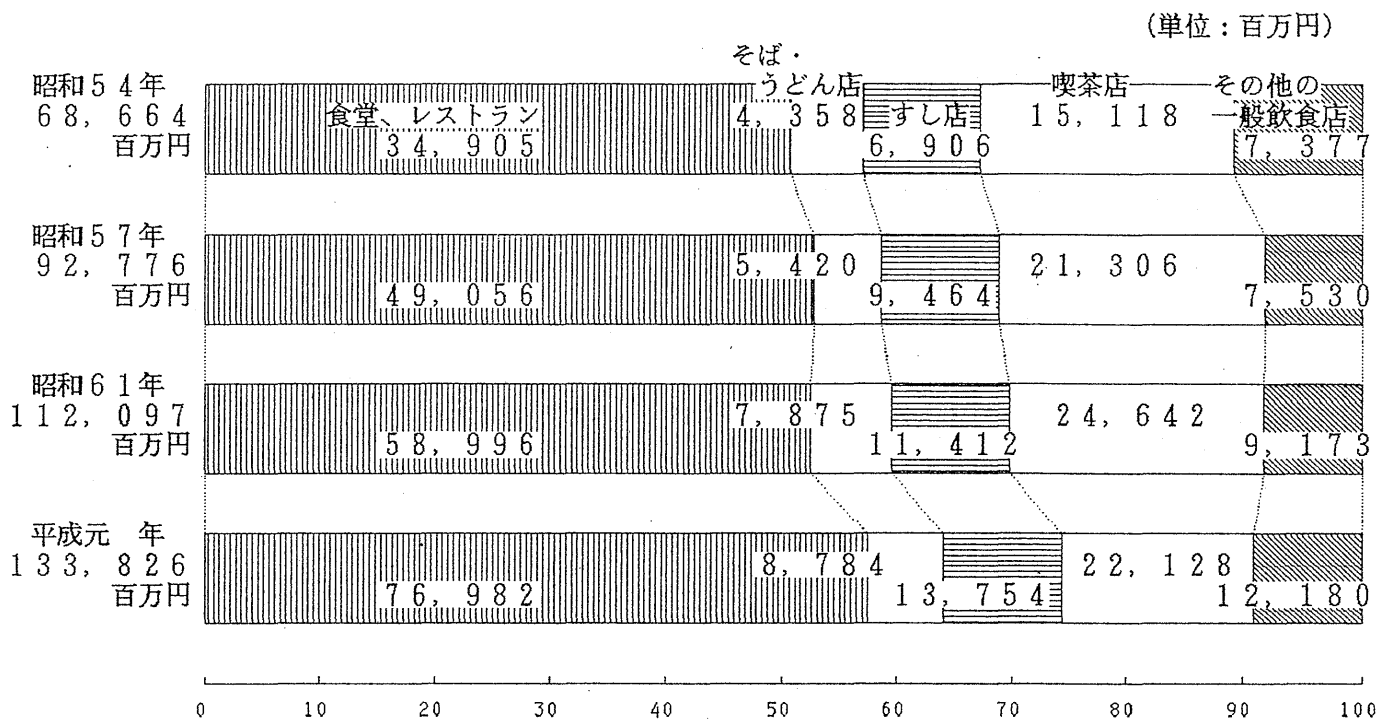
10年前と比べると、652億円(1.95倍)の伸びになっているが、業種別でみると実数、伸び率とも食堂・レストランの421億円(2.2倍)の増加が最も多くなっている。

(表5参照・図5参照)

表5. 業種別の年間商品販売額

	昭和54年			昭和57年		
	実数	構成比	対前回比	実数	構成比	対前回比
合計	68,664	100.0	128.2	92,776	100.0	135.1
食堂、レストラン	34,905	50.8	130.9	49,056	52.9	140.5
そば・うどん店	4,358	6.3	127.0	5,420	5.8	124.4
すし店	6,906	10.1	121.4	9,464	10.2	137.0
喫茶店	15,118	22.0	155.5	21,306	23.0	140.9
その他の一般飲食店	7,377	10.7	91.8	7,530	8.1	102.1

図5. 業種別の年間商品販売額



昭和61年			平成元年			対54年比	
実数	構成比	対前回比	実数	構成比	対前回比	増減数	元/54年
百万円	%	%	百万円	%	%	百万円	%
112,097	100.0	120.8	133,826	100.0	119.4	65,162	194.9
58,996	52.6	120.3	76,982	57.5	130.5	42,077	220.5
7,875	7.0	145.3	8,784	6.6	111.5	4,426	201.6
11,412	10.2	120.6	13,754	10.3	120.5	6,848	199.2
24,642	22.0	115.7	22,128	16.5	89.8	7,010	146.4
9,173	8.2	121.8	12,180	9.1	132.8	4,803	165.1

図6. 商店数、従業者数、年間商品販売額の推移

